

(別紙)

研修大会実施結果報告書

第63回名古屋矯正管区教諭師研修大会（岐阜県大会）

1 実施年月日 令和元年 6月11日(火)～12日(水)

2 会 場 岐阜県岐阜市長良648

岐阜グランドホテル

3 目 的

私たち教諭師が原点に立ち返り、被収容者と同じ目線で接し、信頼関係を構築する中で、心の通い合う教諭を模索し、被収容者が自らの罪を自覚し、他を思いやる心を啓発できるよう実効と希望ある教諭に努める。

4 研修題 「自らの尊さに目覚めて明日への糧にしよう」

5 参加者

教諭師46名 矯正施設関係者38名 その他関係者4名 計88名

6 大会内容

第1日目

開会式

基調講演

演 題 「教諭の現状」

講 師 元名古屋矯正管区教諭師連盟会長 石 川 宣 氏

意見発表会

発表者

富山刑務所所属教諭師 原 壽 伸

三重刑務所所属教諭師 川 島 一 郎

豊橋刑務支所所属教諭師 宮 部 唯 能

瀬戸少年院所属教諭師 堂 宮 淳 賢

第2日目

記念講演

演 題 「堀の中の嘶家 奮闘中」

講 師 東京拘置所篤志面接委員（女流落語家） 古今亭 菊千代 氏

7 研修の成果

第63回名古屋矯正管区教諭師研修大会は、岐阜県岐阜市において、大会のメインテーマを「安らぎの心を求めて」、サブテーマを、「自らの尊さに目覚めて明日への糧にしよう」として開催された。

(別紙)

基調講演では、前名古屋矯正管区教諭師連盟会長で現参与である石川宣氏により、「教諭の現況」と題して、教諭師の現状と課題について、これまでの経験をもとに講演が行われた。教諭師として長年活動されている石川氏の講演は、教諭活動を行う上での考え方や課題が的確に示されており、教諭師としての姿勢を再確認する有意義な機会となった。

その後の意見発表会では、各施設所属教諭師による様々な演題に基づいた発表がなされ、その発表を受けた研修参加教諭師との質疑応答によって、活発な意見交換が行われた。教諭師各々が、日々の教諭活動で感じている悩みや率直な意見を発表することで、自身のこれまでの教諭活動を振り返り、今後の教諭の在り方を考えることができた。

記念講演では、女流落語家で東京拘置所篤志面接委員としても活動されている古今亭菊千代氏により、「塀の中の嘶家 奮闘中」と題して、日々の篤志面接活動について豊富な経験談を披露された。同じ矯正施設で活動する教諭師にとって共感できる内容が多く、今後の教諭活動について非常に参考となり、貴重な時間となった。